

平成 22 年度 活動報告書

[]協議会内活動

1. 第 13 回代表者会議

会則の定めにより 5 月定例の代表者会議は、平成 22 年 5 月 16 日(日)名古屋市総合社会福祉会館を会場とし、名古屋市に於いて初めての開催となった。当日は代表者会議と拡大写本のつどいとの同時開催が計画通りに実施された。

午前中は全国拡大教材製作協議会の代表者会議の審議が行われ、平成 21 年度活動報告及び決算報告、平成 22 年度活動計画及び予算、年会費の改正、世話人の選出等関連事項について世話人会提案通り承認された。

会議に先立ち 文部科学省教科書課の平尾係長、名古屋選出の国会議員からご挨拶をいただいた。

午後は「第 22 回拡大写本のつどい」を開催し、「連携」をテーマとして、拡大教科書の普及について行政、出版社、ボランティア、利用者の連携についてそれぞれの立場の方からの意見を聞き、討論してその方向性を確認出来たことは大きな成果であった。

2. 世話人会の開催

東京都障害者福祉会館に於いて平成 22 年 4 月～23 年 3 月の間、隔月(奇数月)第 4 水曜日の開催を原則として定例的に 6 回の会議を開催した。会議では協議会の円滑な運営について協議を行った。

3. 会報の発行

平成 22 年度は東日本大震災の影響で 2 回の発行になった(第 35 号・7 月、第 36 号・11 月)。

グループ紹介、協議会の活動状況報告、世話会の開催状況などを協議会会員向け広報するとともに外部関係者の理解を深めるのに役立てることが出来た。

4. 拡大教科書製作についての照会・紹介活動

23 年度用拡大教科書の照会件数は標準拡大教科書の発行が促進され、大幅な減少傾向となった。3 月末までに延べ 46 件の照会に止まった。

その他拡大教科書に関する基本的な事項についての問い合わせも少なく 17 件であった。

[]対外活動

1. 文部科学省との交流

拡大教科書用の原本教科書およびデジタルデータの提供が円滑に実施されるよう情報の交換を継続できた。

2. 教科書協会および全国教科書供給協会との交流

拡大教科書製作のための教科書の共同入手について、教科書協会を窓口として円滑な運営が継続できた。

また拡大教科書の製作費精算事務委託は全国教科書供給協会のご協力により円滑に実施することが出来た。

3. 富士ゼロックス社との交流

富士ゼロックス社からは例年と同様のコピー機使用のご協力をいただくとともに、文部科学省からの委託事業「教科書デジタルデータ提供のシステム整備」に関する調査研究事業プロジェクトにも参加でき、ボランティアにとって使い勝手の良いデジタルデータ提供の条件等について課題や要望を述べ、文部科学省へ提出される調査研究報告が効果的に機能するための提言・協力を行うことができた。

4. ジャストシステム社との交流

拡大教科書製作に多く活用されているワープロソフトおよび OCR ソフトの無償提供の協力をいただきつつ、協議会活動への理解を推進した。

5. 文部科学省の委託研究事業として、慶応義塾大学の中野先生は「拡大教科書の提供システム」

に関する調査研究を進められ、このプロジェクトに参加して拡大教科書のサンプル集の製作に協力することが出来た。

6．利用者への情報提供

協議会事務局は全国の学校・教育委員会等から拡大教科書に関する相談、問い合わせを受け、積極的に対応することが出来た。

以 上